

菌に感染しやすく重症化

【問】勤務先の健康診断を機に内科を受診し、糖尿病と診断されました。歯周病の可能性もあるとのことで歯科医院の受診を勧められましたが、関係あるのでしょうか？(長崎市、58歳男性)



【答】糖尿病を患う人は歯周病になりやすいことが分かっており、歯周病は糖尿病の6番目の合併症と言われています。反対に、進行した歯周病があると糖尿病を悪化させるとも言われています。

まず、糖尿病が及ぼす歯周病への影響ですが、歯周病は、歯肉の境目のポケット(歯周ポケット)に入り込んで繁殖した細菌(歯周病関連細菌)の感染による慢性の炎症性疾患です。そのでき方(発症)や進み方(進行)には、からだの抵抗力が大きく関与しています。したがって糖尿病になると、からだを守る機能の低下が起これ、傷の治りが遅くなりまので、歯周病の発症・進行に影響を与えます。その結果、糖尿病があると歯周病菌に感染しやすくなり、炎症により歯周組織が急激に破壊され、歯周炎が重症化していきます。

歯周病が及ぼす糖尿病への影響は、歯周病関連細菌が出す毒素が血糖値を下げる働きのあるインスリンに作用する(インスリンを作りにくくする)ことで、血糖値が上がって



厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト より抜粋

しまします。糖尿病と歯周病のある人に対して、歯周病の治療をすることで糖尿病の改善がみられたという報告もありますので、糖尿病と診断された場合に歯科医院にて歯周病の診断と治療を行うことは、とても大切なことなのです。まずは、かかりつけの歯科医院に相談することをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒855-2186001、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

糖尿病と歯周病

回答者 県歯科医師会 医療情報委員会